

# 防災力アップに全力!

## 防災に女性の視点を

東京都の2011年度世論調査で、都政への要望として「防災対策」が第1位に。同じ質問を設けた1972年度以降、初めてのことで、東日本大震災が都民の意識の変化に大きな影響を及ぼしていることが、改めて浮き彫りになりました。

公明党は2011年8月18日、「女性防災会議」を発足。女性の視点で既存の防災対策を見直すとともに、新たな対策の構築をめざします。第一弾の取り組みとして実施した「防災行政総点検」では、全国の女性議員が、各自治体の防災担当部局に聴き取り調査を行いました。調査した658の自治体のうち、地方防災会議に「女性の登用なし」が44%、防災計画作成に「女性の意見反映せず」は54%に上りました。公明党は直ちに11項目にわたる「女性の視点を生かした災害対策についての第一次提言」をとりまとめ、11月24日政府に提出しました。年末に改定された国の防災基本計画には、この提言内容が反映され、女性の参画拡大などが必要と明記されました。今後、地方自治体における地域防災計画への反映に取り組んでいきます。



## AEDの普及

心臓マヒなどで倒れた人に電気ショックを与え、命を救う自動体外式除細動器(AED)は、公明党の推進で全国の公共施設や学校、駅、商業施設などに33万台が設置されています。AEDを用いて応急処置した1カ月後の生存率は4割を超え、救命効果の高さが証明されています。



## 学校の耐震化など防災機能を強化

災害時に地域の避難所となる学校の耐震化が全国各地で進んでいます。公明党は、公立小・中学校の耐震補強を行う区市町村への補助率を引き上げる法改正を、2008年に実現。現在、東京の公立小中学校の耐震化率は94%です(2011年4月)。今後は、緊急輸送道路の沿道建築物、災害拠点病院、幼稚園・保育所、社会福祉施設等の耐震化を進めていきます。

## いのちを守るために

### ドクターヘリの全国配備



「空飛ぶ救命救急室」と呼ばれるドクターヘリは、公明党が全国配備を推進する法律の制定などを進め、現在、全国23道府県に28機が配備されています(2011年末時点)。既に運用は累計5万回を超え、東日本大震災では、全国から18機が被災地に飛び、傷病者の治療・搬送にあたりました。東京都は東京消防庁が持っている消防ヘリコプターを活用した「東京型ドクターヘリ」を、2007年よりスタート。夜間も含め24時間態勢で、都民の生命を守ります。



## 東京DMAT(ディーマット)の拡充

2004年、東京都が全国で初めて導入したDMAT。専門的な訓練を受けた医師らが災害現場に急行して救命活動を行う災害派遣医療チーム。東日本大震災の医療等支援として、DMATが被災地で救命活動を行いました。



## ハイパーレスキュー隊の増設

阪神・淡路大震災の教訓を踏まえて創設された、高度の救助技術を有する東京消防庁の消防救助機動部隊「ハイパーレスキュー隊」(1996年発足)。派遣された国内外で活動。東日本大震災直後には、福島、宮城、千葉県市原市のタンク火災でも活動。今後増設が予定されています。



## ポケット防災ハンドブック

今日からはじめる防災力アップ対策。  
防災は日ごろの心構えと準備から。



### 職場に置いておく よいもの

- スニーカー、厚手の靴下
- 動きやすい衣類上下
- 帽子  
(防災ずきんの代わりになる)
- マスク
- 軍手
- 帰宅地図
- 雨具
- 非常用持ち出し袋
- ( )



### いつもバッグにあると よいもの

- ひとまとめにして袋に入れておけば、  
バッグを変えても便利!
- 現金(10円玉、100円玉を入れておく)→公衆電話が必要
- 携帯電話の充電器(予備電池)
- 笛(ホイッスル)
- 緊急連絡先一覧
- 水、あめ、チョコレート
- 携帯ラジオ
- 小型懐中電灯
- 筆記用具、メモ帳
- 絆創膏(ばんそうこう)
- ( )

### 災害用伝言ダイヤル 171の使い方

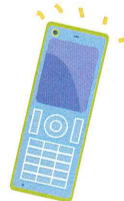
- ①「1」「7」「1」をダイヤルする。
  - ②録音するとき(30秒以内)  
「1」→自宅の電話番号(市外局番から)→「ピー」音のあとに話す。
  - ③再生するとき  
「2」→自宅の電話番号(市外局番から)→用件を聞く。
- 詳しくは音声ガイダンスに従って下さい。
  - 最大48時間保存されます。
  - 「毎月1日、15日」に体験利用できます。



### 携帯電話災害用伝言版

- 文字で伝言を残すことができます。
- 携帯各社のトップページから「災害用伝言版」を選択し、登録して下さい。
- 詳細は各社ホームページで確認して下さい。
- 「毎月1日、15日」に体験利用できます。

- 【docomo】
- 【au】
- 【SoftBank】
- 【WILLCOM】
- 【EM】



### 私の避難場所・ 連絡先

家族会議で、避難場所や連絡先を決めておきましょう。

避難場所名  
住所

非常時の連絡先になってもらう人

親戚・知人名  
電話  
親戚・知人名  
電話

震災直後

### 防災用品リスト

- (主な例)
- 飲料水(1日一人3ℓ)
- 食料(赤ちゃんがいる場合は粉ミルクも)
- 救急医薬品類(常備薬)
- 携帯ラジオ、乾電池(予備分も)
- 懐中電灯、ろうそく、ライター
- 衣類(下着等)、スニーカー
- タオル、ティッシュ
- ウエットティッシュ
- おむつ、生理用品
- 簡易トイレ、新聞紙
- 歯ブラシ、マスク
- カセットコンロ
- 軍手、ガムテープ



など

### 緊急時に役立つ連絡先

※携帯を電話帳代わりにしていると、  
電池が切れたら終わりです!

- 役所・役場
- ガス会社
- 電力会社
- 水道局
- 保険会社
- 保育所・学校
- かかりつけ病院

### 安否確認をとる人

- 名前
- 電話
- 携帯
- メールアドレス
- 名前
- 電話
- 携帯
- メールアドレス
- 名前
- 電話
- 携帯
- メールアドレス

### お役立ち情報 ①

くわしくはこちらをクリック!

東京都防災

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/>  
(携帯サイト)



- ※サイト内の「東京都防災マップ(地図検索)」は便利です。自分が知りたい地域の
- 避難所
  - 給水拠点
  - 医療機関
  - 帰宅支援ステーション
- 等が地図検索できます。

### お役立ち情報 ②

くわしくはこちらをクリック!

- 
- <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 
- <http://www.9tokenshi-bousai.jp/>
- 
- <http://www.fdma.go.jp/>
- 
- <http://www.wds.emis.go.jp/>
- 
- <http://doubutsukyuen.org/>

震災当日



# あなたの防災力チェック!! Q&A

## 首都直下地震(東京湾北部地震・想定M7.3)が起こった場合

次の設問にA、Bどちらかを選んで☑チェックして下さい。

### Q 設問

- |                                  |   |   |                                    |                                  |                                    |
|----------------------------------|---|---|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <b>1</b> 停電になったら復旧に何日かかる?        | <input type="checkbox"/> A 3日           | <input type="checkbox"/> B 6日                     | <b>8</b> 自宅の近くの災害時の避難場所や避難所(防災拠点)を | <input type="checkbox"/> A 知っている | <input type="checkbox"/> B わからない   |
| <b>2</b> 水道の復旧には?                | <input type="checkbox"/> A 10日          | <input type="checkbox"/> B 30日                    | <b>9</b> 災害時に一日最低必要な飲み水の量は一人       | <input type="checkbox"/> A 3リットル | <input type="checkbox"/> B 5リットル   |
| <b>3</b> 都市ガスの復旧には?              | <input type="checkbox"/> A 14日          | <input type="checkbox"/> B 53日                    | <b>10</b> 災害用伝言ダイヤルの番号は            | <input type="checkbox"/> A 171   | <input type="checkbox"/> B 117     |
| <b>4</b> 地震が起こったときに、家の中で一番安全な場所を | <input type="checkbox"/> A 知っている        | <input type="checkbox"/> B わからない                  | <b>11</b> 最寄りの給水拠点を                | <input type="checkbox"/> A 知っている | <input type="checkbox"/> B わからない   |
| <b>5</b> エレベーターの中で地震がきたら         | <input type="checkbox"/> A 緊急呼び出しボタンを押す | <input type="checkbox"/> B すべての階のボタンを押す           | <b>12</b> 地域の防災訓練に参加したことが          | <input type="checkbox"/> A ある    | <input type="checkbox"/> B ない      |
| <b>6</b> 外にいるときに地震がきたら           | <input type="checkbox"/> A その場でうずくまる    | <input type="checkbox"/> B まずカバンで頭を守る             | <b>13</b> 地震対策の中で、室内の家具の固定を        | <input type="checkbox"/> A している  | <input type="checkbox"/> B していない   |
| <b>7</b> 車を運転しているときに地震がきたら       | <input type="checkbox"/> A 急ブレーキをふむ     | <input type="checkbox"/> B 車を寄せ車検証をもちキーをつけたまま避難する | <b>14</b> 非常時の連絡方法や集合場所など、家族防災会議を  | <input type="checkbox"/> A している  | <input type="checkbox"/> B したことがない |

### あなたのレベルにピッタリで賞

- |  |
|--|
| <b>5</b> 85点~100点<br>震災を生き抜く備えが「ばっちり賞」         |
| <b>4</b> 60点~80点<br>細かいところまで、あと少し「つめま賞」        |
| <b>3</b> 40点~55点<br>災害が起きたら、どうなるかを想定して「準備しま賞」  |
| <b>2</b> 20点~35点<br>その時、あわてないように、今日から「チェックしま賞」 |
| <b>1</b> 0点~15点<br>今のままでは大変!ハンドブックを「読みま賞」      |

### A 解説

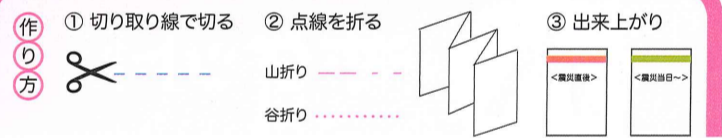
☐の中の記号にチェックができれば、1~10は各5点、11~13は各10点、14は20点として合計して下さい。あなたにピッタリのレベルがわかります。

- |  |   |   |                                   |   |
|--|---|---|-----------------------------------|---|
| <b>1</b> B 停電復旧目標は6日。                  | <b>4</b> A 自宅の耐震診断をうけたり、家具を固定したり等安全対策を。 | <b>7</b> B 道路をふさがずに、いつもトラックには最低限の防災用品を。 | <b>10</b> A 災害時は171(いない)。使い方も練習を。 | <b>13</b> A また、カーテンを閉めておけば窓ガラスの飛散を防げます。                         |
| <b>2</b> B 松原村と奥多摩町を除き断水発生。復旧まで30日がめど。 | <b>5</b> B すべての階のボタンを押すと最寄りの階で停止します。    | <b>8</b> A 指定の避難場所にある支援設備・備蓄品の確認も重要。    | <b>11</b> A 自宅、勤務先の給水拠点は要チェック。    | <b>14</b> A ひとり暮らしの場合には、友人・知人と助け合いネットワークを作り、いざという時の準備をしておきましょう。 |
| <b>3</b> B ガスの復旧はさらに時間を要し53日。          | <b>6</b> B まずカバンなどで頭を守り、身の安全を第一に行動を。    | <b>9</b> A 3リットル×家族の人数×3日分は備蓄しておこう。     | <b>12</b> A 日ごろの近所づきあいが、わが身を守ります。 |   |

1~3 出典「首都直下地震による東京の被害想定報告書(平成18年5月)」による。尚、報告書では、多摩直下地震の被害も想定。また現在、最新の知見に基づいて被害想定の見直しをしている。

## ポケット防災ハンドブック

いざという時にあわてずに。いつもカバンやお財布の中に入れて持ち歩きましょう。



### 震災直後

#### <震災直後>

まずは自分の身を守りましょう



KOMEI

#### 地震がきたら ①

(屋内にいる時)

- ① すぐに身を守る態勢になること。転倒・落下物から身を守る行動をとる。
- ② 揺れが収まったら、あわてずに靴やスリッパをはく。
- ③ 火の始末(火事をふせぐ)をして、ドアをあける(避難口の確保)。
- ④ 状況をよく確認して、必要なら避難する。



#### 地震がきたら ②

(屋外にいる時)

- ① カバンや着ている服などで頭を保護し、安全な場所に移動する。銀行や新しい高層ビル、ガソリンスタンドは比較的耐震性が高い。
- ② ブロック塀、門扉等には近寄らないこと。自動販売機の転倒にも注意。
- ③ 電線(垂れて感電のおそれ)、信号機(機能せず車が暴走してくる可能性も)、室外機(ビルの屋外の頭上から落下する場合あり)など頭上の上のものはすべて危険。

#### 家を離れる時には

- ① 電気のブレーカーを落とす。
  - ② ガスの元栓やコンセントを確認する。
  - ③ 窓やドアの鍵を閉める。
  - ④ ドアの内側に家族の状況と避難先を書いた紙をはる。
- ※ガムテープを張り、その上に油性マジックで書く方法もある。



#### 歩いて帰宅する場合

(災害時帰宅支援ステーション)

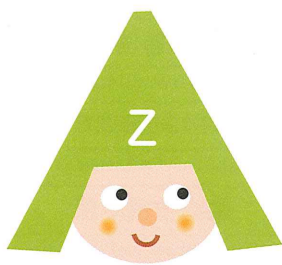


キタクちゃん  
このマークのあるコンビニやレストラン、カラオケ店などで水道水やトイレ、情報の提供を受けることができます。  
※安全確認後に行動しましょう。

### 震災当日

#### <震災当日~>

落ち着いて行動し、「助け合い」の精神で

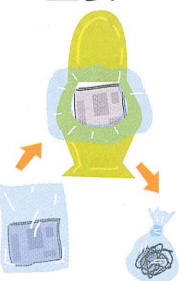


KOMEI

#### トイレは重要

断水となったら、一番重要なのがトイレ対策。

- 大きめのポリ袋と新聞紙で作る簡易トイレ。
- 〈作り方〉  
袋に新聞紙を入れ、袋の底を下にして口を広げ、洋式便座の上にセットして便座に座り使用。しばらく時間を置いて排泄物の水分を新聞紙に吸収させ、あとは袋を密封して捨てる。(図)
- 市販の簡易トイレを防災用品として備えておく。特に携帯用は便利。



#### 食品用ラップは便利

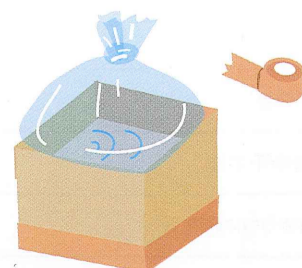
- ラップを皿に敷いて食事をすれば、断水でも皿洗い不要。
- 寒い時には体に新聞紙を巻き、ラップで包めば立派な防寒着に。
- ばんそうこうの代わりに傷口に巻いて、応急手当にも。

非常用持ち出し袋に入れておこう。



#### 水は貴重

- お風呂のお湯は残して生活用水に。
  - 折りたたみ式の水タンクは給水用に便利です。
  - 段ボールとゴミ袋が給水タンクに。
- ガムテープで段ボール箱を補強し、箱の中にビニール袋を広げ、水を入れ袋の口を縛れば、即席の給水タンクにもなります。



#### ペットはどうするの?

- ペットは家族。まずは、ガラスなどが飛んできてけがをしないように、室内対策を万全に。
- また、被災後にペットに会えないことのないように、鑑札をつけたり、首輪に連絡先を書くなど工夫しましょう。避難所での対応は自治体によって違います。

